

令和5年度 学校評価結果及び成果と課題

1 課題分析の基準

(1) 以下の基準で、課題を分析する。

- ◇平均の評価点が3.1以下の項目
- ◇平均の評価点は3.2以上だが、一部に2や1を10%以上含む項目
- ◇昨年度の評価点よりも、0.5以上低くなった項目
- ◇職員の評価と保護者や児童生徒の関連項目との評価に0.5以上差がある項目

(2) 上の基準に加え、自由記述の内容を併せて確認し、少数意見であっても学校運営を見直す上で必要と判断される場合は、改善策の検討を行う。

(3) 評価の高かった項目に関しては、学校全体で改善策の検討は行わないが、これまでの取組を継続しながら、更に充実を目指す。

2 今年度の課題への取組結果について

(1) ICTの活用に関する項目の職員の評価が昨年度に比べ0.2ポイント上昇した。また、保護者アンケートの結果も、本校（小：3.7、中：3.7、高：3.6）、分教室3.4と高かった。

- ・ICTの活用に関する評価点が高くなっていることから、活用が進んでいることが分かる。今後も、児童生徒がICT機器をさらに活用できるよう、タブレットPCの家庭への持ち帰りや子供とのやり取りの際のTeamsの活用などを進めていきたい。
- ・幼稚部においては、実体験や実物、写真を介した指導場面が多く、ICT機器の活用については、写真や動画を振り返りの際に活用している程度である。今後、どのように子供が活用するのかを検討していく。

(2) 働き方改革に関する項目の職員の評価は、2項目とも3.1と低く、昨年度と変わらなかった。

- ・業務改善のための具体的な方策の共通理解が、十分進んでいなかったためと考えられる。プラス1推進運動や安全衛生委員会の取組を中心に、再度、全体や部単位で業務改善について具体的に検討・共通理解をして働き方改革を進める必要がある。

3 次年度学校全体で改善策を検討する項目について

(1) 課題分析の基準から学校評価検討委員会で課題の抽出を行った結果、以下を検討する。

No.	具体的評価内容	検討の理由	検討主体と手順
職員 (7) - ②	②キャリアパスポートを効果的に活用し、キャリア発達に関する児童生徒の主体的な取組と進路実現を図る。 ③全学部におけるキャリア教育に関連した教科等の実践や評価による教育課程編成や、改善に努める。	平均の評価点が低い	②全体的に各行事の振り返りや各学期の反省などは行っているが、キャリアパスポートの活用が不十分である。キャリア支援部と連携しながら、キャリアパスポートの運用の見直しを行う。 ③キャリア教育全体計画と日頃の教育実践・評価をつなげる取組を継続するとともに、教育課程検討委員会等で取組を検証していく。

	(9)	①業務改善アクションプランの方針に沿って学校が取り組むべき課題を明らかにし、業務の効率化を徹底する。 ②プラス1推進運動や安全衛生委員会の取組を中心にした働き方改革を推進し、風通しの良い職場づくりに努める。	平均の評価 点が低い	職員アンケートで出た意見などを基に、管理職と安全衛生委員会が連携し、業務改善の対策を再度検討して可能なものから順次取り組んでいく。
生徒	5	先生は家庭や寄宿舎での学習の仕方についてアドバイスをしてくれる。	一部低評価	学習の仕方について丁寧に伝え、内容が伝わったかどうかの確認も丁寧に行う。また、家庭と連携し、家庭学習の状況を把握しながら、宿題の質や量の調整を行う。
	6	家や寄宿舎でも、自分から進んで学習に取り組んでいる。	一部低評価	上記と同じ。
保護者	16	保護者はPTA活動に協力的である。	一部低評価	PTAの活動自体は全て計画どおり行われた。しかし、参加される保護者がほぼ固定化されていた。よりたくさんの保護者に来ていただけるように、集まりやすい期日の設定や参加していただけるような企画をPTA役員と連携しながら検討したい。

4 各学部で改善策を検討する項目

- (1) 課題分析の基準からの検討課題を導き出す。
- (2) 検討課題がある場合は、それぞれ改善に向けて早急に取り組む。

5 その他

- (1) 即時性が必要な事柄については、早急に改善を行う。
- (2) 2月の職員会議までに、改善対策の方針を整える。